令和６年度 第１回 横浜市市民文化会館関内ホール指定管理者選定評価委員会 会議録

１ 日　時　令和６年11月11日（月） 13時28分～15時07分

２ 場　所　横浜市市民文化会館関内ホール　リハーサル室２

３ 出席者　伊藤 裕夫 委員長、大野 幸子 委員、佐々木 岳 委員、関谷 裕子 委員

４ 欠席者　無し

５ 傍聴者　無し

６ 議事内容

議題	１　定足数の確認 ２　委員会の公開・非公開について ３　審議事項：「令和５年度業務評価」
議事・ 委員意見等	**１　定足数の確認** 「横浜市市民文化会館関内ホール指定管理者選定評価委員会運営要綱」第７条第３項に基づき、委員数５名のうち５名の出席により定足数を満たしており、会議の成立を確認した。 **２　委員会の公開・非公開について** 横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条及び横浜市市民文化会館関内ホール指定管理者選定評価委員会運営要綱第９条に基づき、「令和５年度業務評価」の審議については公開とした。 **３　審議事項：「令和５年度業務評価」** (1)　指定管理者による業務報告及び自己評価 指定管理者から、令和５年度の実績及び自己評価についての説明があった。 (2)　行政評価について 評価表に基づき、事務局から行政評価の要点について説明があった。 (3)　委員による評価 委員から指定管理者に対する評価内容の説明及び質問を行った。 **《評価内容の説明》** **１「使命１　文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場になる」について** 《質疑》 委員　利用者アンケートの内容について知りたい。 指定管理者　利用料金、設備、施設の状態、事務職員や舞台スタッフの対応などについて、「非常によい」、「よい」、「普通」、「悪い」、「とても悪い」の５段階に分けてアンケートを回収した。令和６年度のアンケート結果では関内ホールを初めて利用する人が26％と、利用者全体の４分の１を占めていた。また、「立地条件がいい」という理由で初めて関内ホールを利用した人が62％であり、高い利用率に貢献していることがわかった。

	委員　家族や子ども向けイベントの成功例をもとに、若年層など多様な層が参加できるイベントの割合を増やし、より多くの市民に文化芸術活動の機会やきっかけを提供することができないか。 指定管理者　若年層向けの取組では、次世代育成の中で市内演劇連盟と連携して、演劇講習会や発表会の開催に向けた演劇支援に取り組んでいる。 委員　ステージコンシェルジュ制度について、担当者は何人か。 指定管理者　複数の舞台技術経験者がホールに在籍しており、１日の利用の中で、なるべく１人は配置するようにしている。 委員　関内ホールでのプロとアマチュアの利用はどういった形態が多いのか。 指定管理者　細かい統計は取っていないが、バレエ教室やダンス教室、ピアノ教室といった一般のアマチュアの団体、企業による研修会の利用がある。また、プロモーターによる利用では、幅広いジャンルの興行が実施されている。 委員　興行系の利用は、大ホールの収容人数が1,000人程度だと少ないため利用に制限がかかってくるとおもうが、比率的にはどうか。 指定管理者　土日は興行系の利用が比率的に多く占めている。 **【評価する点】** ・ステージコンシェルジュによるワンストップのきめ細やかなサポートが、初めての利用者やリピーターからの高い評価を獲得した点。 ・貸館利用率が達成目標の95％を超え、総来場者数も達成指標には届かないものの、前年比３万人増と着実に実績を上げた点。 ・利用者満足度の向上について、通年アンケートを通じて利用者の声を反映し、特にソフト面での対応改善に注力した点。 ・利用者アンケートと会議で業務を継続的に改善し、利用者満足度の向上を図る体制を整備した点。 ・リハーサル室４の床にリノリウムを常設したことでバレエ教室の利用が増え、発表会の実施につながったなど、利用者の視点に立った取組が利用率向上につなげる工夫がされている点。 ・乳幼児向けコンサートを開催し、家族向けイベントで安心して参加できる環境を整え、多くの来場者を迎えた点。 **【更なる取組を期待する点】** ・利用者アンケート結果から、評価された点と改善点を踏まえて、施設運営において更なる成果が生まれることを期待する。 ・リハーサル室の利用率向上について、利用料金の割引が大きな効果として上がっているが、それ以外にどういった策があるか、ニーズを掴んで考えていく必要がある。特にリハーサル室の利用者が発表の場としてホールを使っていくという、良い循環を作る仕組みをぜひ考えていただきたい。 ・アンケート内容について、事業効果を測るために、具体的かつ定量的な評価ができる項目への改善が必要である。

２　「使命２　文化芸術の鑑賞機会を提供する」について
《質疑》
委員　アウトリーチ事業は、指標を達成していなかったが、他に代替となる取組は実施したのか。

指定管理者　アウトリーチ事業の代替となる取組として、地域ケアプラザにおいてYouTubeで公演の限定配信を実施した。また、青少年育成センターと連携して、生活困窮者支援の一環で、子どもたちへの文化面における寄り添い型支援事業の検討を進めている。

【評価する点】
・鑑賞型事業では、実施回数、入場者数が指標を上回って実施するとともに、来場者の満足度が高い公演を実施しており、有効な事業展開を行っている点。
・スクランブル・ダンスプロジェクト公演「ロックス」は、体験型講座の展開や、ソーシャルインクルージョンにも配慮されている。また、他館と連携して実施するなど、文化施設が社会から求められる様々な視点を集積させた事業を企画して実施した点。
・バックステージツアーやピアノの解体ショーなどコンサートの裏側を探る事業を展開し、施設の面白さを市民に伝えている点。
・演奏する市民に向けてサービスをきちんと行っている点。
・満足度アンケートの利用者満足度が非常に高い点。

【更なる取組を期待する点】
・主催事業「関内寄席ここらの４人」は素晴らしい企画であるため、今後も若手演者の応援企画を引き続きお願いいたしたい。
・大ホールの音響効果改善の実証結果をＰＲして、音響効果の新しいコンサートホールとして周知を進めていただきたい。
・アウトリーチ事業では指標を達成していなかったので、今後の展開に期待する。
・来場者アンケートの結果から、来場者の中に他の鑑賞者の行動に不満を持つ人もいることがわかったので、開演前のマナーの案内を強化するなど快適な鑑賞環境づくりを進めることを期待する。

３　「使命３　次世代を担う人材を育む」について
【評価する点】
・事業数も達成指標を大きく上回っており、親子体験型の事業や若手アーティスト支援事業など、市民に身近なホールとしての活動が定着している点。
・小中学校計３校で伝統芸能や音楽鑑賞のプログラムを実施し、教育現場の文化教育に貢献した点。
・若手アーティスト支援事業を14件実施、ストリートライブや若きバレエダンサーのための新人コンクールの開催や新人ジャズミュージシャンのちぐさ賞記念ライブの開催、また、若手落語家の活躍の場の提供など、様々な機会を創出した点。
・市民こどもミュージカルやよちよちひなたぼっこコンサートなど家族で楽しめるイベントを開催し、親子で文化体験を楽しめる場を提供した点。
・ベビーカーの置場やおむつ替え、授乳スペースの設置など乳幼児も広く受け入れる体制を整え、多くの方がより参加しやすくなっている点。

【更なる取組を期待する点】
・次世代育成の活動を広げて更なる強みとすることによって、関内ホールを利用する若者のリピーターの増加につなげてほしい。
・子ども向け事業に加えて、ティーンや若年層向けがより集客できるプログラムを検討していただきたい。
・若手アーティストの支援では、定期的な演奏や発表の機会を増やすなど安定的な体制を整備し、支援の継続性を強化していただきたい。

４　「使命４　地域のにぎわいを創出する」について
【評価する点】
・玄関前ステージでストリートライブを開催することで馬車道商店街のにぎわいや馬車道のイメージアップにつながり、地域活性化に貢献している点。
・馬車道商店街との連携だけではなく、東京ガスや神奈川大学、関東学院大学とも連携を図り、関内全域の活性化に貢献しようと取り組まれている点。
・地域の施設・団体との連携実施事業性も達成指標を大きく上回っており、ｔｖｋや神奈川新聞での広告事業により５社共同事業体の強みを生かしたにぎわい創出に貢献されている点。
・地域施設と24件の連携事業を実施し、商店街とも月１のヒアリングで協力関係を強化した点。
・動画コレクションに10本を追加し、地域文化の記録と発信を行い、デジタルアーカイブを充実させた点。

【更なる取組を期待する点】
・大学との連携は若手の出演者や貸館利用者、鑑賞者と幅広くつながっていくので、今後も積極的に連携を図っていただきたい。
・デジタルアーカイブの利用を促進し、地域イベントの動画コレクションを多くの市民に認知してもらうために、ＳＮＳなどで広報を強化していただきたい。
・現在利用が少ないとされている中年、若年層など新規利用者に届ける広報活動をしていただきたい。

５　「使命５　利用者の視点に立ち持続可能性を高める施設運営を行う」について
【評価する点】
・法定点検100％の実施や事故件数も０件で施設の安全性を維持した点
・修繕予算100％の執行で早期対応を徹底した点
・空調や清掃に関する利用者からの意見を反映し、快適な環境を提供した点

【更なる取組を期待する点】
・横浜市市民利用施設予約システムの更新や突発的な修繕対応など、指定管理者単体では対応が困難な案件について、横浜市と有益な情報共有を行い、対応を進めていただきたい。
・施設を今後も快適に安全に維持するため、施設の長寿命化につなげるために、横浜市と協議して適切に管理していただきたい。
・障がい者芸術文化活動支援センターとの協力から職員が知見を高め、より新しい展開をつくれるような資質を高めていくことを、今回に限らず積極的に進めていただきたい。
・ソーシャルメディア関係では、出演者のインタビュー動画など工夫した投稿を今後も継続していただきたい。

	６　「総括」について **【評価する点】** ・達成指標の２倍の鑑賞型事業を開催し、参加者の満足度も高いなど、施設を有効に活用し利用者に還元した点。 ・バックステージツアーやピアノ解体ショーなど、鑑賞にとどまらない特徴的な取組を行った点。 ・ＪＶ構成企業の強みを生かして、積極的な情報提供を行った点。 ・市内に様々な文化施設がある中、市民に近い存在としての関内ホールの役割をよく認識し、それを強みとして運営している点。 **【更なる取組を期待する点】** ・インクルージョン事業やアウトリーチ事業を実施するなかで蓄積したノウハウや成果を生かして、新しい取組につなげていただきたい。 ・インクルージョン事業や子ども向け事業が盛んに実施されるなか、引き続き、一般向けの事業にもきちんと取り組んでいただきたい。 ・大仕掛けの事業は準備期間が必要になってくるため、困難を乗り越えてながらやっていただきたい。
まとめ	本日の委員会で確認した内容を踏まえ、各委員は評価シートを改めて清書し、事務局で調整の上、委員会の最終評価内容としてまとめることとする。また、議事録については委員長確認後に確定のうえ、公表する。